

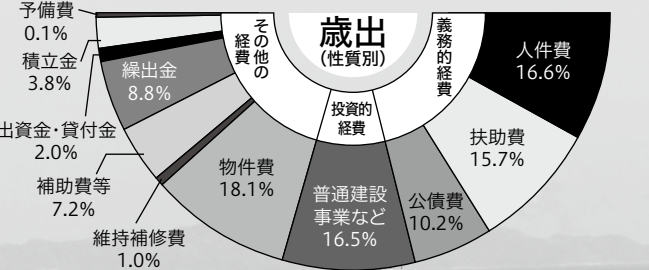
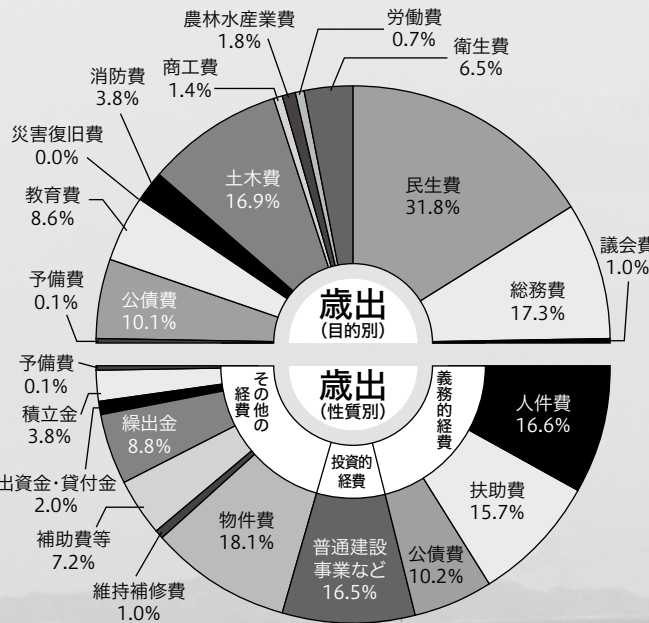
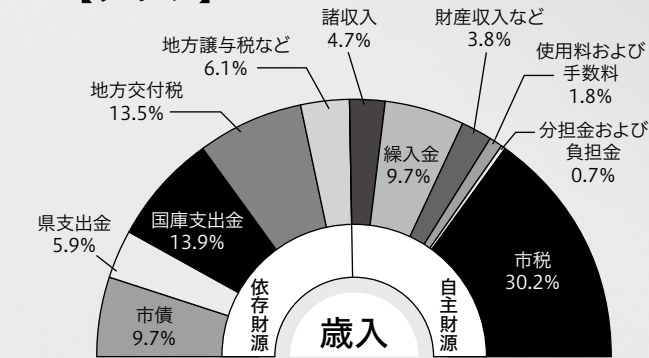
【一般会計・特別会計】
地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入で特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】
地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】
市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅

用語解説

【グラフ】



使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【性質別歳出】
市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、その

ほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

【目的別歳出】
市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知ることができる。

おおたけをアップデート
新年度予算力
ヨサンリョク

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2121

一般会計は、170億4,392万5千円で、前年度当初予算に比べて7.2%の増となりました。

歳出は、定額減税補足給付事業費などの総務費や大竹保育所改修等事業費などの民生費などが増加し、大竹小学校プール整備事業が完了した教育費などは減少しています。

歳入は、地方交付税や繰入金などが増加し、市税や国庫支出金などが減少しています。

5つの特別会計の合計は、77億6,632万1千円で、前年度に比べて12.8%増加しています。

（グラフ）（表1・2）

【表1】

項 目	内 容	令和6年度 ()は5年度	前年度比 (%)
		170億4,393万円 (159億 418万円)	7.2
自主財源	市税	51億5,080万円 (51億8,345万円)	▲0.6
	分担金および負担金	1億2,591万円 (1億3,441万円)	▲6.3
	使用料および手数料	2億9,688万円 (2億9,583万円)	0.4
	財産収入など	6億5,099万円 (6億2,664万円)	3.9
依存財源	繰入金	16億5,776万円 (13億8,254万円)	19.9
	諸収入	7億9,677万円 (7億9,374万円)	0.4
	地方譲与税など	10億4,007万円 (9億2,764万円)	12.1
	地方交付税	22億9,970万円 (20億 338万円)	14.8
	国庫支出金	23億6,906万円 (24億 179万円)	▲1.4
	県支出金	10億 869万円 (8億4,746万円)	19.0
自主財源	市債	16億4,730万円 (13億 730万円)	26.0

【表2】

項 目	内 容	令和6年度 ()は5年度	前年度比 (%)
		170億4,393万円 (159億 418万円)	7.2
義務的経費	人件費	28億2,524万円 (27億3,463万円)	3.3
	扶助費	26億7,446万円 (25億 463万円)	6.8
	公債費	17億2,640万円 (17億7,370万円)	▲2.7
投資的経費	普通建設事業費	28億 489万円 (27億4,701万円)	2.1
	災害復旧事業費	1万円 (1,000万円)	▲100.0
その他の経費	物件費	30億8,503万円 (23億7,266万円)	30.0
	維持補修費	1億7,124万円 (1億4,335万円)	19.5
	補助費等	12億3,534万円 (10億2,371万円)	20.7
	繰出金	15億 317万円 (15億5,521万円)	▲3.3
	出資金・貸付金	3億4,536万円 (3億4,646万円)	▲0.3
	積立金	6億5,279万円 (6億7,282万円)	▲3.0
予備費	緊急時のための 目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0

【表3】

名 称	区分	令和6年度	令和5年度	対前年度比 (%)
水道事業会計	収益的	収入 5億4,804万円 支出 5億9,876万円	5億8,199万円 5億7,929万円	▲5.8 3.4
	資本的	収入 1億4,856万円 支出 2億3,781万円	1億9,513万円 3億7,082万円	▲23.9 ▲35.9
工業用水道事業会計	収益的	収入 5億5,273万円 支出 4億8,984万円	5億5,164万円 4億6,704万円	0.2 4.9
	資本的	収入 7,620万円 支出 4億1,847万円	6,470万円 4億1,942万円	17.8 ▲0.2
下水道事業会計	収益的	収入 12億3,435万円 支出 10億7,471万円	10億9,339万円 9億6,096万円	12.9 11.8
	資本的	収入 16億2,860万円 支出 18億 68万円	10億5,808万円 12億3,778万円	53.9 45.5

※令和6年度から、漁業集落排水事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計が企業会計に移行し、公共下水道事業会計と統合して「下水道事業会計」となります。

【表4】

一般会計・特別会計

名 称	令和6年度	令和5年度	対前年度比 (%)
一般会計	170億4,393万円	159億 418万円	7.2
特別会計	77億6,632万円	68億8,251万円	12.8
計	77億6,632万円	68億8,251万円	12.8
国民健康保険	33億4,570万円	29億4,756万円	13.5
漁業集落排水	-	8,474万円	▲100.0
農業集落排水	-	5,371万円	▲100.0
港湾施設管理受託	7,577万円	7,257万円	4.4
土地造成	8億 52万円	2億8,840万円	177.6
介護保険	29億3,109万円	28億8,131万円	1.7
後期高齢者医療	6億1,324万円	5億5,422万円	10.6
合 計	248億1,025万円	227億8,669万円	8.9

3 生活・環境

Life & Environment

小方地区まちづくり関連事業 4億1,156万7千円 [拡充]

小方地区のまちづくり基本構想に沿ったまちづくりを推進するため、次の事業を実施します。

小方地区のまちづくり道路設計等業務

小方地区のまちづくり基本構想に基づく道路計画について検討し、関係機関と協議を進めます。

担当者に聞く 教えて モトヤマさん

企画財政課
課長補佐兼企画係長
本山 公一

小 方地区のまちづくり事業は、平成29年3月に策定された小方地区のまちづくり事業基本構想に基づいて、進めてきており、これまで、県有地への企業誘致（下瀬美術館）、晴海臨海公園や小方認定子ども園の整備、岩国大竹道路に関連した事業など、さまざまな事業に取り組んできました。今年度については、昨年度決まりました旧小方

小方4号線道路改良工事

県で実施予定の臨港道路交差点に接続する未改良区間の工事を行います。

港湾施設の修築・改良事業

県が実施する小方港の橋りょう架け替えに伴う工事などの費用の一部を負担します。

道の駅基本構想・基本計画等策定事業

小方地区のまちづくり基本構想に基づく旧小方中学校跡地の活用として、道の駅の基本構想・基本計画の策定および民間活力導入可能性調査を2年間で実施します。

晴海臨海公園整備事業

令和6年度は、多目的グラウンドと西側エリアを整備します。

小・中学校跡地の活用方針に沿った道の駅の基本構想・基本計画策定等事業、周辺道路整備に関連した事業などの予算を組んだところです。

これからも小方地区のまちづくり事業を着実に前に進めていき、基本構想が目指すまちづくりのコンセプト「気になる大竹、気にいる大竹」を実現させ、魅力的な大竹市となるよう取り組んでいきたいと思います。



上 下水道局で管理している上水道管の総延長は約207kmあり、管種ごとに耐用年数を定めて管理しています。このうち耐用年数を経過した管路で、漏水の多い管路や、さび水が多い管路を優先して、更新工事を進めています。また、今年度は水需要に応じた上水道管の最適な口径や、配水池の更新計画など、水道事業計画全体を見直すための業務も行います。

上水道管の更新工事では、一時的な断水作業などにより、さび水が発生することがありますが、昨年のような大規模な漏水や長時間にわたる広範囲の断水が生じないよう取り組みますので、市民の皆さんのご理解ご協力をお願いします。

1 教育・文化

Education & Culture

中学校照明設備LED化事業 1億1,000万円 [新規]

施設の維持管理、経費削減、環境への配慮のため、大竹中学校の照明設備をLED照明に更新します。

奨学金貸付事業 1,028万2千円 [拡充]

経済的な理由により就学の機会がなくなることのないよう、学資の貸し付けを行います。なお、生活程度を判定する所得の認定基準の一部を見直し、令和6年度の貸し付け分から適用します。

玖波地域交流施設整備事業 4,160万円 [拡充]

築50年を経過する玖波公民館をコミュニティサロン玖波の機能を統合した地域交流施設として新たに整備します。令和6年度は地質調査・地形測量を行い、基本設計・実施設計に着手します。

学校給食費支援事業 1億5,430万2千円

市立学校に在籍する児童・生徒の保護者が負担する学校給食費を全額免除することで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進します。

2 産業・雇用

Industry & Employment

マロンの里改修事業 1,300万円 [新規]

マロンの里の都市と農村の交流拠点および地域の拠点としての機能を維持するため、老朽化調査と修繕工事の設計を行います。



上水道配水施設改築更新事業 3,110万円 [新規]

老朽化する水道配水施設（管路・配水池）について、将来の水需要を踏まえ、管種、口径などを見直し最適な更新計画を策定します。また、立戸の既存の配水幹線が破損した場合でも、広範囲に断水することがないように、仕切弁を設置します。

担当者に聞く 教えて ヤマダさん ヤスオカさん

上下水道局工務課長
山田 浩史(右)

工務課長補佐兼上水道係長
安岡 利朗(左)



6 自治・行政運営

Self-government & Administrative management

市制施行70周年記念事業 1,600万円【新規】

市制施行70周年を迎える日「令和6年9月1日」を節目として市民に周知し、ふるさと大竹への愛着を深めることを目的に、記念式典の開催や各種啓発事業を実施するほか、市の知名度を高める取り組みなど市民から提案のあった記念事業に対して支援を行います。

担当者に聞く
教えて オチさん

企画財政課主査
越智 佳世

大 竹市は9月1日に市制施行70周年を迎えます。9月1日には記念式典を予定しており、毎年実施している「コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」や「大竹・和木川まつり花火大会」など様々なイベントにも予算を拡充しています。また、「市民提案事業」として市民の皆さん提案の様々な記念事業を募集していますので、一緒に市制施行70周年を盛り上げていきましょう。

市民提案事業の詳細はこちら
(募集期間：6月28日まで)



予算書を販売しています。1,500円(消費税込み)

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2121

予算書(A4版342ページ)は、1,500円で、企画財政課、各支所で販売しています。(当初予算の概要は無料配布)

市立図書館や情報公開コーナー(市役所2階)、市のホームページでもご覧になれます。



予算書の検索は
こちらから

アップデートして住みよいまちに。

4 安全・安心

Safe & Secure

防災行政無線更新事業 500万3千円【新規】

老朽化が進む防災行政無線設備について、市の現状に見合った更新の基本計画を策定し、これに基づく基本設計を行います。

市営外灯LED化事業 1億4,658万円

市内に設置している市営外灯について、夜間の歩行者の安全確保や犯罪の未然防止を図るため、非LED灯(蛍光灯、水銀灯)を計画的にLED灯へ更新します。

5 健康・福祉

Health & Welfare

おむつ等宅配事業 1,460万1千円【新規】

子育て経験のある配達員による「子育て用品の宅配サービス」(生後2カ月から満3歳の誕生月までの乳幼児のいる家庭に、乳幼児1人あたり3千円相当のおむつ・おしりふきなどの子育て用品を2カ月に1回自宅に宅配)を行うとともに、子育てサポート情報の提供、母子の健康状態の確認、保護者からの相談対応などを行います。

休日診療所移転事業 685万円【新規】

老朽化している休日診療所を旧なかはま保育所跡地へ移転します。令和6年度は、旧なかはま保育所の解体設計などを行います。

こども医療費助成事業 7,653万9千円

こどもの健やかな成長を支えるため、こどもの医療費にかかる自己負担の一部を助成します。令和5年10月から対象を18歳までのこどもに拡大し、安心して子育てができる環境づくりを推進しています。

市立保育所等整備事業 3億480万円

「大竹市公立保育所等の再編における大竹地区施設整備計画」に基づき、本町保育所を大竹保育所に統合(令和6年4月)し、令和6年度から7年度にかけて大竹保育所を改修するとともに、大竹中学校敷地の一部を保護者送迎用駐車場として整備します。

担当者に聞く
教えて ヤマダさん タナカさん

福祉課課長補佐兼児童係長 山田 隆司(右)
副主任 田中 沙綾(左)

10 月から子育て用品の宅配サービスを始める予定です。これはカタログギフトのように、3千円相当の子育て用品を選んでいただくことができるものです。子育て経験のある配達員がお届けしますので、育児の悩みなども気軽に相談することができます。このサービスを多くの方に利用していただくために、今後、広報紙や市ホームページ、窓口などで詳細をお知らせします。

